

# 平成22年度 八戸市公共事業再評価シート

No.  

<b>評価対象事務事業名</b>	こどもの国整備事業	<b>担当部署(電話)</b> 都市整備部公園緑地課 公園整備グループ内線(520)
------------------	-----------	--

<b>再評価実施要件</b>	<input type="checkbox"/> 事業採択後 <input checked="" type="checkbox"/> 5年経過 <input type="checkbox"/> 未着工 <input checked="" type="checkbox"/> 再々評価実施後 <input type="checkbox"/> 10年経過 <input checked="" type="checkbox"/> 継続中	(その他)	
----------------	--	-------	--

➡ 八戸市公共事業再評価実施要綱第3条第1項(3)

## 1 事業の概要

<b>総合計画の 施策の体系</b>	<b>分野</b>	5.安心・安全なまちづくり
	<b>大施策</b>	5-4. 居住空間の整備
	<b>中施策</b>	①快適でうるおいのある市街地の形成
	<b>小施策</b>	④公園・緑地の整備
	<b>事業</b>	こどもの国整備事業(こどもの国(八戸公園)の整備)

<b>事業方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input type="checkbox"/> 市単独事業
<b>財源負担</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 国 50 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 50 %

<b>採択年度</b>	昭和56年度	(用地着手 昭和56年度)	(工事着手 昭和56年度)
<b>終了年度</b>	平成25年度	平成21年 3月工期変更	(変更前の終了年度 平成 20年度)

<b>目的</b>	子供から大人まで一日中楽しく遊べる場として、また、災害時の広域避難地、さらには都市緑化推進の情報発信拠点としての役割など、市民の生活環境への関心や余暇増大等に伴う多様なニーズに対応した、八戸圏域を代表する屋外レクリエーションの場となる公園として整備を進めている。 現在は9つ目の「サクラの杜ゾーン」の整備を進めており、桜を主とした花見広場の他に、本公園の課題となっていた天候に左右されず通年利用可能な施設として、また子育て支援の役割をも担う親子交流の場ともなる施設として、子ども交流館の整備を進めている。今後も自然の中で動植物と触れ合える施設等も計画しており、親子共に楽しく遊べる公園を目指している。	<b>内容</b>	施設の内容	ha		
			ゾーン名	計画面積	供用面積	
			1	緑化植物園ゾーン 緑の相談所、見本園、池	5.6	5.6
			2	入口広場ゾーン カナル広場、日本庭園、ローズガーデン	2.9	2.3
			3	駐車場ゾーン 駐車場(約1,000台)	4.2	4.2
			4	芝生広場ゾーン 多目的芝生広場	3.8	3.8
			5	展望ゾーン 展望台、滝、モニュメント(縄文親子像)	2.0	2.0
			6	遊園地ゾーン ゴーカート場、大型遊戯施設(ジェットコースター他7種)	4.1	4.1
			7	わんぱくゾーン わんぱく広場、キャンプ場、炭焼き小屋	1.5	1.5
			8	動物放牧ゾーン サル山、動物ふれあい広場、動物舎	2.9	2.9
9	サクラの杜ゾーン サクラの樹席、交流館、ソリゲレンデ、クワガタ館他	10.0	4.0			
計		37.0	30.4			

<b>事業費</b>	○ 当初計画時総事業費 5,130 百万円	○ 再評価時総事業費 5,000 百万円					
	(単位:百万円)						
		～19年度	20年度	21年度			
		22年度	小 計	23年度～			
		合 計					
当初計画 (うち用地費) 【S56年4月採択】	5,130 ( 767 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	① 5,130 ② ( 767 )	0 ( 0 )	5,130 ( 767 )
計 画 (うち用地費) 【H21年3月変更】	3,846 ( 603 )	60 ( 0 )	50 ( 0 )	230 ( 0 )	4,186 ( 603 )	814 ( 175 )	⑤ 5,000 ⑥ ( 778 )
実 績 (うち用地費)	3,846 ( 603 )	60 ( 0 )	250 ( 0 )	120 ( 0 )	③ 4,276 ④ ( 603 )	724 ( 175 )	5,000 ( 778 )

## 2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点 A

<b>進捗状況</b>		計画全体に対する進捗	当初年次計画に対する進捗
	事業費割合	85.52 % 【③/⑤】	83.35 % 【③/①】
	(うち用地費)	( 77.51 % ) 【④/⑥】	( 78.62 % ) 【④/②】

《説明》  
 多額の事業費を要する子ども交流館の整備のため、平成21年度予算を大幅に上乗せしたことから、事業進捗率は約86%とかなり前進した。今後はクワガタ館や、用地取得後へのマウンテンバイクコースの整備などを予定しているが、例年並みの予算で事業は完了する見込みである。

**(2) 事業の必要性等に関する視点 A**

<b>必要性</b>	<p>○当市の1人当たり公園面積は、平成20年度末時点で9.70㎡と県内の平均15.66㎡と比較し低い水準であることや、「八戸市緑の基本計画」が平成35年を目標とする1人当たり公園面積16.0㎡の実現においても、当公園の開設面積の増進は必要不可欠である。</p> <p>○当公園は、毎年約60万人もの人々が来園する八戸圏域最大の屋外レクリエーションの場である。このため、平成16年3月策定の「八戸市都市計画マスタープラン」や平成16年3月策定の「八戸市緑の基本計画」においては、市内外の人々が集いにぎわう拠点としての整備充実や、市民ニーズの多様化に対応した拠点づくりを図る公園として位置づけられている。</p> <p>○市の「戦略プロジェクト」には、親子交流の場となる屋内の遊び空間や、様々な体験学習が可能な子育て支援の役割を担う施設として、「子ども交流館」が位置づけられている。</p> <p>○「八戸市次世代育成支援行動計画後期計画」には、子育てを支援する生活環境の整備方針の中に、子どもたちの遊び場、また地域住民の交流の場としての整備を行う公園として、こどもの国が挙げられている。</p> <p>○八戸市地域防災計画に災害時の広域避難地として指定されており防災公園としての役割が求められている。</p>	<b>市民等の声</b>	<p>○平成21年12月議会で、子ども交流館の施設概要と趣旨について質問があり、子ども交流館は天候に左右されず1年を通じて遊べる施設として、平成23年度のオープン予定だと答弁している。</p> <p>○ソリ遊び用人工芝のゲレンデ整備の要望がある。</p> <p>○平成21年8月に実施された「八戸市次世代育成支援」に関するニーズ調査では、悪天候時に遊べる施設が少ないことから、それに対応したいいつでも利用できる屋内施設の整備が望まれている。</p>
------------	--	--------------	--

**(3) 事業の投資効果に関する視点 A**

		(単位:百万円)			
区分	主な項目	再々評価時	再々々評価時	増減	
<b>費用対効果分析</b>	<b>費用項目 ㉔</b>	① 施設整備費	6,510.0	7,673.0	1,163.0
		② 用地費	1,202.0	1,099.0	△ 103.0
		③ 維持管理費	9,604.0	10,922.0	1,318.0
		④			
		⑤			
	総費用	17,316.0	19,694.0	2,378.0	
<b>費用対効果分析</b>	<b>便益項目 ㉕</b>	① 利用価値	2,353.0	15,990.0	13,637.0
		② 環境価値	10,825.0	9,800.0	△ 1,025.0
		③ 防災価値	8,411.0	10,606.0	2,195.0
		④ 残存価値	281.0	0.0	△ 281.0
		⑤			
	総便益	21,870.0	36,396.0	14,526.0	
	B/C	1.26	1.85		

《説明》

➢ 費用対効果分析手法  
改訂第2版 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル(平成19年6月)(社)日本公園緑地協会発行、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修)に基づく

➢ 特記事項  
・費用対効果分析手法マニュアルがH19.6に改訂されたためB/C値は比較できない。  
(アンケート調査等を踏まえ実態に即した評価手法に改良されている)  
受託業者: エイト技術株式会社, 受託費用 ¥3,150,000円

**(4) 事業のコスト削減等に関する視点 A**

<b>コスト削減</b>	<p>○現況の地形や樹木を極力活かした公園づくり。</p> <p>○平成18年度から導入された指定管理者制度による、維持管理費の削減。</p> <p>○公園施設の使用材料等の見直しによる工事費の削減(インターロッキングブロック舗装からコンクリート舗装へ見直し等)。</p>
<b>代替案</b>	<p>サクラの杜ゾーンは、当初、動物放牧ゾーンとして熊放牧等の動物施設が計画されていたが、事業費や維持管理費の削減、また、自然環境の保全等を考慮し、平成14年度に現整備計画に事業計画を見直していることから代替案はない。</p>

**(5) 市民ニーズの視点 A**

<b>把握方法・内容</b>	<p>○平成16年3月に「八戸市緑の基本計画」の策定にあたり実施した市民アンケートにおける代表的ニーズは、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.市内の好きな緑について…こどもの国は種差海岸とともに他に比べ飛び抜けて高い数値(61%)となっている。</li> <li>2. 緑のまちづくりの方向性について…「樹木が多く水辺があり、生き物にふれあうことのできる緑地を増やす」がもっとも多く47%となっている。</li> </ol> <p>○平成21年8月に実施した「八戸市次世代育成支援」に関するニーズ調査では、雨の日や冬季でも体を動かして遊べる屋内施設の整備を望む声が多い。</p>
----------------	---

**(6) 環境影響への視点 A**

<b>配慮手法</b>	<p>該当項目数9項目 (実施数9項目)</p> <p>○建築設計段階で省資源、省エネルギーを推進(膜屋根により省電力化した子ども交流館の整備) ○建築設計段階で新エネルギー、雨水利用システム等の導入(雨水を利用したピオトープ池の整備、ソーラー式公園灯の整備) ○建築設計段階で環境負荷削減(現況地形・樹木の利用) ○施設の緑化(公園樹木の植栽) ○施設の建築・改修時には再生資源を使用(再生アスファルト、再生砕石等の利用) ○建設機械や工事車両には、低騒音、低振動、低排出ガスの機械の使用を促進(特記仕様書による義務付け) ○建築物等の修理・改修により発生する建設副産物のリサイクルを推進し、廃棄物の発生を抑制(アスファルト、コンクリート等のリサイクル工場への搬出) ○農業や科学肥料の使用量削減に努めるなど、環境に配慮した維持管理(必要最小限の使用) ○廃棄物は徹底的に分別し処分し、適正に処理されたことを確認(アスファルト、コンクリート等のリサイクル工場への搬出、マニフェスト伝票の確認)</p>
-------------	---

**3 対応方針(案)**

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>理由</b>	<p>こどもの国は毎年約60万人もの人々から利用される八戸圏域を代表する公園として、遊園地や植物園、また2千本の桜による花見の場づくり等、子供から大人まで一日中楽しめる公園として整備を進めてきたが、悪天候時や通年で利用できる施設はなく、多くの市民からそれらに対応した施設の設置が望まれていた。</p> <p>このことからH21年度から2か年で一年を通じた遊びの他に、様々な体験学習等も可能な施設として「子ども交流館」の整備を進めている。今後も自然の中で動植物と触れ合える施設なども計画しており、総合公園としての機能をさらに高め、市民ニーズに応えていくために事業継続としたい。</p>		

**4 行政改革委員会意見**

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>付帯意見・理由等</b>	<p>公共交通機関(バス)のアクセスのあり方について検討し、より利用しやすい環境づくりに努めること。</p> <p>また、今後の施設管理のあり方について、利用料金収入の増加分を管理費に充てるなど、指定管理者制度導入の成果を踏まえて方針を検討すること。</p>		

**5 対応方針(決定)**

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>理由</b>	<p>総合公園としての機能増進を図りつつ、バスの運行等公園へのアクセス面の向上、また指定管理者制度導入による成果等も踏まえ、総合的に施設の管理運営の方策を検討していく。</p>		